

令和5年度 第5回 松江市生活環境保全審議会

1 日時 令和6年3月29日(金) 10:00~12:00

2 場所 島根県市町村振興センター 大会議室

3 出席者

(1)委員 6名

赤川楊桜子委員、片寄千都子委員、桑原正樹委員、佐藤尚士委員、松浦俊彦委員、
松本一郎委員

欠席者 4名

安部吉輝委員、岡崎泰幸委員、河原和美委員、藤原人美委員

(2)事務局 6名

余村環境エネルギー部次長、末森カーボンニュートラル調整官、石倉環境政策係長、
松浦主任、石原副主任、福間行政専門員

4 次第

(1)開会

(2)環境エネルギー部次長あいさつ

(3)議事

- ① 審議会の振り返り …資料1
- ② 事務事業編の改定報告 …資料2-1、2-2
- ③ パブリックコメントについて …資料3
- ④ 区域施策編について …資料4-1、4-2
- ⑤ 答申(案)の確認 …資料5
- ⑥ その他

(4)閉会

5 会議経過 別記のとおり

6 事務局 松江市環境エネルギー部環境エネルギー課

(1) 開会

○石倉環境政策係長

ただいまより、令和5年度第5回松江市生活環境保全審議会を開催します。

本日、議事に入るまでの進行役を務めさせていただきます環境エネルギー課の石倉でございます。よろしくお願いいたします。

この審議会は、松江市情報公開条例及び審議会等の公開に関する要綱の規定により、すべて公開にて行います。また、議事録を作成するために録音機を使用させていただきますことをご承知おきください。

なお、議事整理及び録音の都合上、ご発言の際は挙手をいただき、マイクを使用してお発言くださいますようお願いいたします。

本日の会議は、概ね12時を終了予定時刻としています。円滑な進行にご協力をお願いいたします。

それでは開会にあたり、環境エネルギー一部次長よりご挨拶を申し上げます。

(2) 環境エネルギー一部次長あいさつ

○余村環境エネルギー一部次長

皆さん、おはようございます。年度末の最後の審議会にご出席いただきましてありがとうございます。まず、花形部長が今回定年退職の辞令が出ており、本会議に参加出来ないことをお詫び申し上げます。

第1回の審議会でお示した改定スケジュールでは年内に策定予定としておりましたが、対象とする温室効果ガスの種類を追加し、メタン等諸々のガスを追加させていただきました。事務事業編においても各施設の状況の洗い出しを再度行わせていただいたことにより期間が多くかかってしまいまして、今日の開催となったことをお詫び申し上げます。

もう一つ、昨年4月に環境省より脱炭素先行地域に選定いただきました。さらに、5月にSDGs未来都市にも選定いただいたことを踏まえて、計画の中に反映させております。加えて、脱炭素先行地域においては国が事務事業編で削減量を50%の目標値の高みを目指ようと指導がございました。区域施策編についても国は削減量を46%で進めておりますけれど、その上を目指すよう指示がございまして、そういったことも含めて遅くなってしまい大変申し訳ございませんでした。

今日は本年度最終回ということで、事務事業編の報告と区域施策編のパブリックコメントの状況、答申関係の内容について協議をさせていただきたいと思っておりますので、活発な論議の方よろしくをお願いします。

○石倉環境政策係長

本日欠席ではございますけれども岡崎委員におかれましては、令和2年11月より委員を務めていただいておりますが、異動により転出され、交代いただくことになりました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

委員の紹介につきましては、お手元にお配りしております「委員名簿」により皆様のご紹介に代えさせていただきたいと思っております。大変略式にて恐縮ではございますが、どうぞよろしくお願い致します。

また、昨年11月より環境エネルギー課職員が1名配属増員となっておりますので、この場を借りて自己紹介をさせていただきます。

○末森カーボンニュートラル調整官

昨年11月より環境エネルギー課カーボンニュートラル調整官として勤めさせていただいております末森清美と申します。松江市は脱炭素先行地域としての取り組みを推進する必要があり、しっかりと役目を果たしていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

○石倉環境政策係長

ここで会議の成立についてご報告いたします。当審議会の会議開催につきましては、「松江市の生活環境の保全に関する条例」第27条により委員の半数以上の出席が求められています。本日は、委員10名中、現在5名がご出席です。片寄委員につきましては、30分程度遅れて来られると連絡がありましたので、この場を借りてご報告させていただき、会議の成立をご報告いたします。

議事の進行に関しては、松本会長にお願いしたいと思っております。よろしくお願いいたします。

(3) 議事

○松本会長

皆さんおはようございます。第5回ということで、かなり議論を重ねてきて非常に立派なものが出てきたと思います。審議に入る前に、私事ですが、先日フランスのパリにある国連のUNESCO本部から戻ってきました。オリンピックの開催もあり、経済がどうか見て来ましたが、静かな印象でした。日本と国民性が違うのかなと思います。脱炭素の話もありましたが、日本人はそれぞれの意識はやや高いのですが、政策的に少し遅れがあるような気がします。一方、フランスは、国民の意識は日本人より低い印象ですが、その反面、政策面が非常に進んでいます。なので、国民としては、政策が変わったらそれに従おうというのがドイツ、フランスなどヨーロッパの国々ということなんです。日本の意識はそれほど低くなく、ヨーロッパより高いところにあるのに、どうしてヨーロッパより政策が進んでいないのか。SDGsの目標の中で13番に脱炭素に関係するところがありますが、日本はこの目標がSDGsの中で一番遅れているんです。非常に危機感のある中で、今回、地球温暖化対策実行計画を答申することになります。これから議事に入っていきますが、資料が非常に読みやすくこれを実行に移すと、すごい先行地域になるという思いです。

それでは冒頭長くなりましたが、議事に入ります。円滑な議事進行にご協力いただきながら、活発な議論をお願いします。

それでは、事務局より本日の会議資料についての確認をお願いします。

○石倉環境政策係長

本日の資料につきましてはお手元に配布しております。

- ・次第
- ・委員名簿
- ・資料1 令和5年度松江市生活環境保全審議会 経過
- ・資料2-1、2-2 松江市地球温暖化対策実行計画 事務事業編(市役所編)本編・概要版
- ・資料3 パブリックコメントによる提出意見と対応方針
- ・資料4-1、4-2 松江市地球温暖化対策実行計画 区域施策編(市域編) 本編・概要版
- ・資料5 松江市地球温暖化対策実行計画(区域施策編) 答申(案)

○松本会長

ありがとうございます。それでは、議題1「審議会の振り返り」について事務局より説明をお願いします。

○余村環境エネルギー部次長

私、余村の方からご説明させていただきます。資料1をご覧いただきたいと思います。

<議題1について、資料1を用いて以下の項目を説明>

- ・第1回から第4回についての議事内容等について確認。

○松本会長

ご意見ご質問などはございますでしょうか。

<一同、意見なし>

○松本会長

次の議題2「事務事業編の改定報告」について事務局より説明をお願いします。

<議題2について、資料2-1、2-2を用いて以下の項目を説明>

- ・計画の基本事項である策定の背景、目的、対象、排出量、削減目標、取組内容を説明。
- ・計画の推進体制としては、カーボンニュートラル実行委員会を毎年開催し進捗管理を行う。

○松本会長

ありがとうございます。ご意見等ございましたらご発言をよろしくお願いします。遠慮なさらず積極的にご意見いただけたらと思います。

○佐藤副会長

技術革新のスピードが加速していると思うのですが、恐らく計画期間の途中で社会情勢に合わせるために見直しが入るのではと思っています。今日の日経新聞の見出しにクボタが急激な技術革新をしているという情報もありますし、計画の見直しを随時かけていただきたいという意見でございます。

○余村環境エネルギー一部次長

ありがとうございました。時代はどんどん変わっている状況でございますので、スピード感を持って見直しをかけようと思います。カーボンニュートラル実行委員会もございまして、そういった中で1年ごとに部内総合評価会議を行いながら見直しをかけていきたいと考えております。

○松本会長

昨今は電気で走る自動車もあります。先行するヨーロッパの国々を見回しても町の中に色々な充電設備があります。例えば、フランスには設備が5～10年前からあるのですが、それよりも今は道路を少し狭めて、自転車や歩行者が歩ける空間を作っているそうです。フランス国民のうち、車に乗っている人は走るスペースが少なくなって少し不便になり、不便さから自転車や徒歩に切り替えるという動きになっています。そういった他国の良いところ悪いところを見て良いものは松江市の中にも取り入れて欲しいと思います。電気自動車は良いのですが、バイオディーゼルや水素など色々な技術革新があるので、佐藤副会長のご発言のように、どれが良いのかバランスをとりながら進めて欲しいと思います。

○松浦委員

省エネ設備や機器、EV車の導入については分かるのですが、最近二重サッシによってかなりエネルギー消費が減るのではと言う話もあります。そういったハード部分の最新の知見も取り入れることも考えていくことも必要かと思えます。

○松本会長

ありがとうございます。桑原委員、赤川委員それぞれ感想よろしく申し上げます。

○桑原委員

堀川遊覧の電気船外機が良い取り組みだと思いながら拝見していました。また、市内で小水力発電を水道施設で行っていることを知りませんでしたので、勉強になりました。

○赤川委員

違う国のことですが良いなと思っていることがあります。日本は個人個人の意識が高いとおっし

やりますが、一人一人が考えている内容を共有するのが難しいと思います。自身で発言した内容を他の方がどう思われるかなという変な意識が私の中にもあったりして、それでしゃべりにくいではと思っています。でもこのような資料を作ってそれを読むというのは真面目な日本人には合うと思います。

○松本会長

ありがとうございます。小水力発電についても、市民の皆さんにも知って欲しいと思っています。

来年4月に完成予定ですが、SDGsの小学生以上向けのDVDを松江市と作っています。5つの話があり、2時間目でエネルギーや松江市上下水道局の情報があり、その中に小水力発電や太陽光パネルを使った発電をやっていることを子ども達向けに出しています。先ほど赤川委員の言われたように、私達は意識が高いはずなのに行動は今一歩出ないししゃべらない、というところがあるので、子ども達向けの教材を作って松江市の全ての小学生がそれを見る機会を得ます。大人の方にもこういう実行計画を読んで欲しいと思います。フランスの話でいうと、市民一人一人の意識は普通なのですが、政策的に進める力があるので全体としてはやっている感があります。一方で日本は、意識が少し高いので行政の施策がしっかりすると更に加速するのではないかという期待感があります。

○余村環境エネルギー部次長

ありがとうございます。市役所編の方も色々ご意見いただいたので、また盛り込めるものは盛り込んでいこうと思います。見直しの際の参考にさせていただきます。このあと、区域施策編のところで地域全体の説明をさせていただきますが、何をすれば省エネができるかといったことや、二重サッシの話なども盛り込んでおりますので、次の説明のところで内容についてご報告させていただきます。

○松本会長

またお気づきの所がありましたらご発言いただければと思います。議題3「パブリックコメント」について説明をお願いできればと思います。

<議題3について、資料3を用いて以下の項目を説明>

- ・パブリックコメントとしていただいた意見への対応方針と回答を説明。

○松本会長

ありがとうございます。それでは、ご意見ご質問がございましたらご発言いただければと思います。今回9名の方からパブリックコメントが寄せられていますが、せめて2桁、欲をいえば100名ほどから意見が寄せられるようになれば、市民が関心を持つようになってきたと言えるのではないかと考えています。市民の意識が上がって初めてALL松江市での取組ということが言えると思うの

で、回答者数を増やす様な努力をしなくてはならないと感じております。一人一人は良いご意見をいただいたと思っております。

それでは、本日は人数が少ないので1人ずつご意見をいただければと思います。

まず、私からですが、全体を通してみると、「頑張れ」という趣旨の意見もありますが、「懸念」の意見が多いです。パブリックコメントというのはそういう懸念について1つ1つ対応していくことかと思っております。資料3の個別番号1のところでは炭素の排出量について、中国やアメリカの話があります。しっかりと日本全体で伝えていかなければならないのですが、それらの国々が実行していないわけではないです。要するに、政府や地方自治体の声掛けがどうかと言う問題で、例えば中国は広大な土地を利用して、風力発電や太陽光発電を見事に行っています。SDGsの7番は中国が他国を牽引していて、莫大な中国の電力を考えると非常に脱炭素に貢献していますが、そういうことは一向に報道されていません。また、アメリカについて、トランプ大統領など政治的なところは置いておきますが、政治がどうあれ、グリーンエコロジーやグリーンの生産に関して、大学全体や町全体でコンポストを行うなど、素晴らしい活動をアメリカ全土で推進しています。アメリカは大統領が替わることよりも、組織や州の力が強い連合国家なので、そういった所も私達は報道から見聞きするしかないのですが、せめて松江市の中ではしっかりした情報を伝えていく必要があると思います。

資料3の個別番号23、「温暖化による異常気象は起こっていないという専門家は多い」とありますが、実際は多くないです。地質学者は100万年単位でいうと現在は寒冷化に向かっており、これは間違いないのですが、産業革命前に比べて気温が1.5度上昇していることも明らかで疑う余地がないです。これらは報道が悪く、しっかりとした情報を流さないといけないのですが、報道番組や記事では少数の意見の方に目が行きがちです。それを私達はしっかりと見極めなければならぬというところで、教育の重要性を感じます。パブリックコメントをいただいた方々にも、しっかりと伝えていかなければならないと思います。

資料3の個別番号21に関連してですが、4月以降に松江市の全ての小学生にDVDでエネルギーについて学べる動画教材を作りっており、具体的な教材を配布することも含めて周知していただければと思います。

また、全体を読んでみると「懸念」に関する意見があります。昔、経済を優先すると環境が悪くなるとよく言われていました。SDGsが目指すようにある部分を推進すると他の部分に必ず影響が出てきます。SDGsが素晴らしいのは、その影響を最小限にするために、例えば経済でもって環境を良くするなど、そういうことが施策的に行われているので、バランスを持って推進しているということをもっと強力に発信していくと良いかと思いました。

それでは感想でも良いので、このパブリックコメントについて一言ずついただければと思います。

○松浦委員

松江カントリークラブ跡地の発電施設の関係の心配をしておられる方が見受けられます。松江市の事業ではないのでなかなか難しいかもしれませんが、もっと情報提供をされた方が良いかな

と思います。

資料3の個人番号23番のところで、経済活動を阻害する政策を松江市民が背負う必要はないとおっしゃっていることが気になっています。松江市民も地球の一住民としてしっかりと活動をする必要があるというニュアンスを出して行く必要があるのではないかと思います。

○松本会長

「経済活動を阻害する」という言葉について私も気になっています。この意見を出された方はすごく強い思いがあると思うので今すぐ意見が変わることではないと思いますが、松江市民として経済活動を盛り上げる1つの手段として地球温暖化に対する取組を進めていければ良いと思っています。ここにいる皆様はご存知だと思いますが、気候変動で魚や農作物がとれなくなると経済がかなり混乱します。最近はそれが分かってきているので、企業も環境活動に取り組まないと銀行は融資してくれない状況になっています。こういったことを丁寧に伝えないといけないと思います。また、対応方針の所に松浦委員がおっしゃったことを盛り込んで欲しいです。丁寧に書かないと、思いが強いので逆効果になることもあるかなと思います。

それでは片寄委員、感想でも良いのでよろしくお願いします。

○片寄委員

やっと2回目の参加をさせていただきましたが、本当に内容も取組も難しいなと思っております。色々なご意見をいただいて、私を含めてJAさんにもSDGsなどなどは皆さんにどれほど浸透しているのかなと思います。色々な意見をおっしゃっている方々がたくさんいますが、実際は一部の人のかなと感じます。本当にすべての方までこの考えが浸透すれば素晴らしいなと思います。もう少し社会全体で、ここまで掘り下げなくても、大切だよ、将来必要だよ、ということから公民館活動等の機会でも知らしめていくと良いのかなという感想を持たせていただきました。

○赤川委員

市民レベルの浸透というところについて、私は畑を無農薬でやっています。周りの方は肥料や除草剤を沢山使っておられます。その畑で作物をたくさん大きく育てるのは良いかも知れませんが、地球全体で見ると、雨が降って肥料が流れて川や海へ流れて魚が捕れなくなるとか、そこまで皆さん考えが及んでいないから肥料や除草剤や農薬を使っておられるのだらうな、とどうしても思ってしまうのです。しかし、私は自分が農薬を使わないということしかできず、他の人に説明することもできず、どうなのかなと悩みながら1人で頑張っております。

私の家のことを言いますと、私と夫の考えは違います。夫は、代々農家をやっていたので、従来の農薬等を使うやり方が拭えないのです。そういったことを長々とやってきたことで環境に対するマイナス面が起こってきているのですが、どうしてもそういったことに考えが及ばない。身近な人たちに分かってもらいたいけどうるさがられるので、どうしたものかなと考えています。

○松本会長

片寄委員の公民館活動のお話について、これは非常に大事なものだと思います。従来のイメージを持っている高齢者もおられますので、今のこの世の中でわかりやすくお伝えする場になるのが公民館だと思います。松江市としても公民館活動のところで併せて情報発信していくと良いと思います。ホームページはなかなか見てもらえないことも多いのでお願いしたいです。

赤川委員からご家族のこともありますが、私の家も同じようなことがやはりあります。これは悩むのですが、社会全体としても市としても家族の中でも意見が違います。私は32年前のガソリン車に乗っています。それは30年40年50年前にこの世の中をまわしてきた技術力や産業に対する私のリスペクトがあるためそのようにしています。SLが走っているからと言って、石炭を燃やして走っていることに反対という人はほとんどいません。私達が暮らしてきた歴史をリスペクトしているからだと思います。家庭の中でも松江市の中でも日本や世界の中でも、それぞれの思いを否定したい気持ちになるのですが、それを受け取ってバランス良くやっていくのが必要です。全体を上げるような施策が、この実行計画の中には見やすくわかりやすくまとまっていると思います。家族の中でも地道にやっていたらと感じました。

○桑原委員

実行計画から広がった範疇の所で捉えた意見があるなと思いました。いただいた意見に対する対応方針はここに書かれている以上はできないのかなと思います。しかし、環境問題以外のところについても不安のお持ちの方にもお答えすることが必要なのかなと思いました。

○佐藤副会長

ここに意見を載せておられる方はしっかりと自分なりの意見を持った方なので、しっかり対応する必要があります。市は環境に対する問題に取り組む姿勢をとっておられて、それに反対する意見をその方々もいらっしゃいますが、民間企業などはSDGsを実行に移した際に、脱炭素の影響が大きいとされるのでみんな一生懸命やっているのだと思います。これをやらないリスクもかなり実際あると思うので、やらなかった場合にどういったリスクがあるのかという所について教えて差し上げる必要があるのかなと思います。

先般、アースサポートさんのカードゲームの募集があり、エントリーして行ったのですが、あまりにも参加者総数が少なくてゲームが成り立たないと言う話をいただいて、そんなものかなあという思いでした。公民館活動の話も先ほどありましたが、出前授業のようなものはやっていきますという話でした。公民館活動を民間企業とやっていけば面白いものができるのではないかなと思います。

○松本会長

ありがとうございます。今、委員の皆さんからいただいた意見について対応いただけたらと思います。

それでは議題4「区域施策編について」の説明を事務局からお願いします。

<議題4について、資料4-1、4-2を用いて以下の項目を説明>

・パブリックコメントを踏まえた計画書の修正箇所、概要版を説明。

○松本会長

ありがとうございます。ご意見ご質問がございましたらご発言よろしくお願ひいたします。

私からは、今回、表紙がよくできていると思いました。直感的に優しいイメージで、水とお城があって松江市のシンボルがここに描かれている気がします。概要版にはいきなり内容に入っていて、少しハードルが高く感じますので概要版も計画書のような表紙があれば良いと思いました。表紙の絵を見たから中を見てみたいと思うこともあると思います。

○松浦委員

概要版があると、非常にわかりやすく良いと思います。

概要版2ページの温室効果ガス削減目標について、短期目標、中期目標、長期目標がありますが、現状の数値を記載した方がわかりやすく、目標に向けて頑張れるのではないかと思います。

また、二酸化炭素排出状況について、「業務その他部門、家庭部門」から排出量が多いということですが、「業務その他部門」とは何かが分からないのでそれぞれ少し詳しく注釈をつけていただいた方が良いかと思います。

○片寄委員

計画書の冊子全体を読むのは大変ですが、概要版は私達素人にも分かるように書いていただいています。二酸化炭素は電気や火を使わなくても排出されていると言うのは何となく分かっていますが、真剣には考えていないのかなと思います。家庭部門からはどの程度排出されているのかとか、簡単に誰が見ても、私達はこんなに二酸化炭素を出しているのだ、と言うポイントだけを書いていただいても良いのかなと思います。皆様がどれだけ身近に感じておられるのでしょうか。そういうポイントだけ出してもらえれば、意外ともう少し身近に感じることもできるかもしれません。こういう取組があるということを知るだけでなく、その内容の切実さがもっと浸透すると関心も高まるのではと思います。目から単純に大事なポイントが入ってくるような、子どもでも年寄りでも分かるような何かがあれば良いなと感じました。この問題はみんながもっと大切に考えるべきことだと思います。

○赤川委員

家に送付いただいた計画書を見ていたのですが、環境コラムが非常に分かりやすいと思って読んでいました。そういった所からだと入りやすいのかなと思います。グラフも調査されて準備されたものですが、例えば私の夫などは環境への意識がずっと遠くの所にあるので読みはしないです。

環境コラムの方は図がかわいらしく書いてあるので分かりやすいです。概要の方にも環境コラムのような図が少しあるとハードルが少し下がるのではないかと思います。

○桑原委員

環境コラムが読み物として勉強にもなり、面白かったと思います。

計画書について事前発送頂いた時から2ページ分削られていますかどの部分が削られたのでしょうか。

○石原副主任

パブリックコメントで意見がありました、参考資料の市民アンケートの指摘箇所に対応してページ数が減っています。他、本文の中で大きく削った記載箇所はありません。

○桑原委員

区域施策編のところ「参加してみよう」「やってみよう」というのが書かれていて気になりました。基本方針5のところ「参加してみよう」のところ、一斉清掃などはいつ頃の時期に開催しているのかを記載した方が参加しやすいのかなと思いました。また、基本方針6のところ「参加してみよう」については、基本方針5で書いてある内容よりも少し参加しにくいと思うのでどうなのかなと感じました。

○佐藤副会長

情報発信についてですが、松江市の公式YouTubeを見て下さいという形にして、市の職員の方などが動画内で計画の内容を説明するなどそういう方針で考えた方が分かりやすく媒体として広がりやすいと思います。ぜひ、ご検討いただければと思います。

○松本会長

松江市としては、食ロスやSDGsに関する動画を作っていますが、皆さん動画を見られてたことがないと思うのでここで流します。1本あたり7～8分の動画です。分かりやすくイラストも入り、4時間目には市長も出演します。2時間目にはフードバンク島根、3時間目には上下水道局、4時間目が松江市の行政の話、5時間目には自然環境の保護保全、自然再生センターと海の学校を見てもらいます。

資料の中身についてお話しすると、赤川委員のおっしゃったように、コラムのような内容でないと、なかなか冊子全体を読むことは難しいと思います。概要版に表紙を付けてほしいというのがありますが、コラム編などを作成し、付録のようにつけてもらうと良いかもしれません。コラムは読んでいて楽しく、意識啓発になるので、温暖化対策実行計画区域施策編コラム集、良いと思います。松江市のことがこれで学べるものがあればいいなと思います。ただお金がかかったり、時間がかかるのならば、「コラムはこれです」と概要版にQRコードをつけて、楽しく分かりやすく解説が載っ

ているということを伝えてあげれば誘導できて良いと思います。

私からは以上ですが、何か言い忘れたことなどございましたらお願いします。

○松浦委員

赤川さんが先ほど農業と水のお話をされていましたが、水の関係でお話をすると、雲南に針葉樹の多い山を持っている方がいて、針葉樹はあまり山の栄養にならないということをおっしゃっています。広葉樹を植えていければ土壌の栄養になったり水を蓄えたりできて、栄養のある水が川に向かって流れて、最終的には海に流れて海の栄養になり、海の生物にも非常に良い影響が出ます。そしてまた海の水が蒸発して雲になり、雨になって降ってくる、というのは本当にその通りだと思っていて、是非そういうこともどこかで触れていただければ良いなと思います。水や自然の循環の話も大事だと思いますし、広葉樹を色々な山に植えるという取り組みの話も触れてもらうと良いかなと思います。

○赤川委員

夫の実家が小さい山を持っていて、川が1本流れているらしいのですが、災害が起こったときなどにその川の水が使用できるのかどうか調べてもらおうと思っています。山の方はおじいさんの代で杉や檜を植えたのですが、その後管理がされておらず、売ってもお金にならないし、木を切り出してもお金がかかるので放ってある状態になっている場所を見に行ってみようと思います。

○松本会長

ありがとうございます。循環はとても大事ですし、川の水は恐らく使えると思います。針葉樹も広葉樹もそれぞれの役割がありますので、針葉樹は一年中CO₂を吸い取って酸素を出してくれます。それぞれの役割、多様性を学ぶには山が一番良くうらやましいなと思いました。

それでは今いただいた意見に関してコメントがありましたらよろしくをお願いします。

○余村環境エネルギー部次長

今日は最終回と言うことで、いただいた意見を反映させていただいて、会長さんのほうにまた見ていただいて、一任をいただきたいと思いますのでよろしくお願い致します。

○松本会長

ありがとうございます。それでは最後に議題5「答申(案)」について説明の方をお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

<議題5について、資料5を用いて以下の項目を説明>

- ・答申(案)の内容を説明。

○松本会長

ありがとうございます。今の答申(案)は市民の皆さんに見てもらうものというよりも、委員を代表して私から市の代表である上定市長に渡すものです。1ページ目の裏側に今までの審議会で委員の皆様がご発言された内容が入っていると思います。

諮問するにあたって私が市長に直接手渡ししますので、その際に、皆さんが是非伝えたいことなどございましたら、私から口頭でお伝えしたいと思いますのでご発言いただきますようよろしくお願いします。先週も市長とやりとりした際に、ジオパークやこの審議会のことをお話していますので、内容についてもしっかりと受け止めてくださると思います。文言修正に関してもご意見ございましたらよろしくお願いします。

○佐藤副会長

最近、魚の生態系が変わったと言うお話を聞きます。それで困っている方々がおられるので、桑原委員のような専門の方にお話しいただいたりする機会があればありがたいと思います。

○松本会長

かつては、ふぐの漁獲量は福岡県が最も多かったそうですが、最近は全く捕れなくなって北海道沖で捕れているそうです。これはどうしたことかと。北海道大学の教授さんが2050年の寿司桶の中のイメージをした写真をあげていて、2050年には魚が獲れないので寿司桶の中にはハンバーグやプリンなどが入っていて魚がないという話があります。北極海のある種のプランクトンは7割が死滅しているのでそれを食べる回遊魚がある地域はかなり深刻で、例えばサーモンなどがかなり高級魚になってしまうということが懸念されています。桑原委員のような専門家の方がいるので、まつえ環境市民会議や公民館活動などでお話ししていただきたいなと思います。

桑原委員他に何かございますか。

○桑原委員

自分達が小学生だった頃と今では、スーパーに並んでいる魚の種類が変わってきたような気がします。消費者、食べる側としては、無くなっていく魚もあれば、新たに捕れるようになる魚もあると思うので、食べたことがないから食べないのではなく、積極的に食べていくことが重要なのかなと思っています。

環境の問題は複雑に絡むので温暖化のことだけではなかつたりするのかもしれませんが、先ほどの会長さんからお話しがあったDVDを作るようなお話も良い取り組みだと思いましたし、松江市は環境が豊かですから、そういった部分も取り上げていただきながら環境について学べる機会が増えていくとありがたいなと思います。

○佐藤副会長

先ほどのお話の通り、おそらく海水のPHが変わっていると思います。プランクトンの殻の形成

ができず、食べるものがなくなり魚の種類が変わってしまうという悪循環です。それで、海水温度が変化し海流の方向が変化して、捕れる魚種が圧倒的に変わってしまったような現状ではないかと思っています。

人間は結構食いしん坊ですので、自分の食べたいものだけ食べていると生態系が崩れてきますし、最近平田の方でブルーフィッシュの取り組みとして、未利用魚を食べようという動きがあります。養殖魚を食べようという動きもかなり出てきています。生態系について、人間が悪循環の中に入ってはいけないという考えが出てきています。魚というのは結構動くものなのだなと最近思っています。

○赤川委員

公民館はどんな人でも行きやすい場所なので、専門家の方々など本当の話ができる方に来ていただいて、色々教えていただくのが良いのかなと思います。

○松本会長

公民館活動についてご発言のあった片寄委員はいかがですか。

○片寄委員

公民館活動のことは大事だと思いますが、公民館にはたくさんの掲示がありそういったものを活用しても良いのかなと思います。わざわざ環境関連のセミナーがあっても、それだけのために出てくるのはハードルが高く、人が集まらないと思います。例えば、健康体操の前とか、短時間で少しずつお話しできれば今よりももっとも効果上がるのではないかと考えます。ホームページは関心が無ければわざわざ見ないと思います。やはり、耳から入ることが重要なのではないかと思います。

○松本会長

ありがとうございます。料理教室の前などちょっとした時間を利用することなど、色々取り組んでいければ良いなと思いました。

それでは、最後に事務局から今後の流れについてご説明をお願いします。

○石倉環境政策係長

今後の流れについて説明をさせていただきたいと思います。先ほど松本会長からもありますが、市長への答申の方を4月に入ってから予定しております。本日、答申をまとめて、それを4月に入ってから答申いただく予定になっております。その後は、今言われたような色んな啓発活動を市民会と一緒にやりながら、環境フェスティバルや環境セミナー、出前講座などでもこういった計画を作りましたと言うことを皆様にPRしながら、今後進めていく流れになっておりますのでよろしくをお願いします。

(4) 閉会

○松本会長

最後に私の方からお礼や挨拶としてお話しします。今年5回目の審議会となりますが、5回開催するのは結構大変なことだと思います。皆さんからの意見が、冊子に反映され、ユニバーサルデザインに対応した非常に読みやすいものになっています。これは他の地方自治体にも誇れるものになっていると思います。ご意見をまとめていただいたりした事務局の皆さんに感謝を申し上げます。この5回を通して委員の皆さんの貴重なご意見や思い、家族の中の色々なことなど、私も海外のことをいくつか情報提供させていただきました。大事なことは、「Think Globally Act Locally」、世界的な視野で物事を考えて、実際に行動するのは公民館であったり、中海や宍道湖で遊んだり、地域で活動行動することだと思います。「Think Globally Act Locally」という言葉は、環境問題とともに1970年頃から出てきた言葉で、私の好きなバックミンスター・フラーという方が、「宇宙船地球号」という言葉を作りました。厳密には真空ではないですが、真空の宇宙空間に地球という星があって、この中に生命がたくさんいて、人間は他の生命をすべて滅ぼしてしまう力を持つってしまったということに対して、私たちは地球に対する責任があります。

いろんな国が存在し、世の中を見てみると戦争や環境、ジェンダー問題など、SDGsの中では17個ものひずみがあり、この17個の解決を目指すということだと思います。その17個の問題の中で、今回皆様と一緒に考えてきた地球温暖化対策実行計画というのは、経済に関しても当てはまりますし、本当に大きな中核を担っていると思います。この1年を通して皆さんと一緒にこの問題について考え、事務局の皆さんと一緒に本当に素晴らしい冊子が出来たと思います。コラム編か付録ができるのかはわかりませんが、1人でも多くの市民の皆さんに見てもらって実行に移せばいいなと期待しますし、私や皆さんもそれぞれの立場でご活躍いただきたいと思います。最後のお礼の言葉とさせていただきます。本日は以上になりますので、進行を事務局にお返ししたいと思います。ありがとうございます。

○余村環境エネルギー部次長

ありがとうございます。今日いただいたご意見につきましては、松本会長に一任をいただいて微修正などをかけさせていただきたいのですがそれでよろしいでしょうか。

<一同、異議なし>

○余村環境エネルギー部次長

ありがとうございます。会長に一任をいただきましたので、今後は本編、概要版の策定に向けて動いていきます。よろしくをお願いします。

○石倉環境政策係長

それでは皆さん、ありがとうございました。審議、大変感謝申し上げます。

令和6年度、新年度になりましても、数回進捗状況の報告など、また開催予定ですので、改めてご都合をお伺いする予定でございます。またスケジュール調整をお願いしますのでよろしく願いいたします。

それでは以上を持ちまして、第5回松江市生活環境保全審議会を閉会いたします。本日はご出席ありがとうございました。お気をつけてお帰りください。